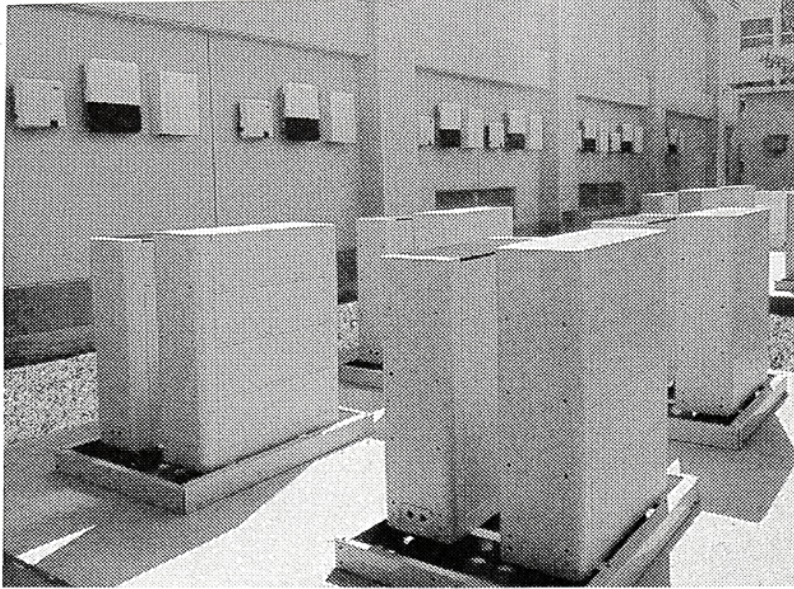


# 広美社、正広 施設用蓄電池システム販売 新ビジネスを看板企業に提供

（株）広正社（本社東京）と、蓄電池工事」という（有）美広（本社千葉、中 看板製作会社でも施工で野聖子社長）はこのほ



設置イメージ

電池システム」の販売を

開始した。製品の供給やサポートはEMCcor

e（株）（以下EMC、本社東京、白井久三社長）が担当する。

EMCは、産業用リチウム蓄電池の開発に20年以上携わり、近年はハイブリッドインバーターなどの輸入・販売を手掛ける。同社の白井社長は、国内20カ所の太陽光発電所に設置してきた太陽光発電・リチウム蓄電池のエキスパートとして知られている。

このシステムは、学校

や文化施設、庁舎公共建築物の太陽光発電設備の設置に適した「施設用」と「家庭用」の2種類を

用意。特に施設用は新たに太陽光発電と蓄電池の設置を検討している施設や事務所などが対象。

システム構成は①蓄電池ユニット（蓄電池容量毎時11.5kWhもしくは毎時26.6kWh、蓄電池ユニットは独自のスタック方式を採用など）、②ストレージPCS（定格出力4.0kw/自立出力3.0kVA、耐久性と静粛性など）、③スマートAI（専用アプリによるエネルギーの「見える化」、AI機能で電気を節約するなど。製品認証はISO、JIS C、UL、IEC、UN38.3、SIL、JETなど。なお、同システム

には太陽光発電システム（PVパネルやPV用PCSなどは含まれていない）。

現在、東京都は再生可能エネルギー（以下再生エネルギー）の導入拡大を図るため、「地産地消型再生エネルギープロジェクト」と題した助成事業（※）を実施している。

蓄電池工事について事業責任者に話を聞いた。

「同システムの特長ならびに優位点

「屋上にソーラーパネルなどを新設、屋外広告やビジョンまたは事務所

の消費電力として、電気会社から電力を買わない方針を検討している会社に適している。設置は電気工事士の資格を持った

社員が在籍していれば対応可能。これまでの看板工事に、「蓄電池工事」という新しい施工領域が加わりと利幅も増え、業界も活性化すると思う。システムの取り付けに必要な施工IDはスマートフォン社が毎月1回、オンライン講習を実施している。関心のある方は講習を受講し、IDを取得いただきたい」

すでに同システムは、小・中学校などの教育機関に多数採用されている。

【問い合わせ】EMC core（株）003・5003 4・6303

※助成対象者は都内に再生設備などを設置する民間事業者。助成率は助成対象経費の3分の2以内（助成上限額は1億円）

HBM5XXXG「シリ

り、低表面エネルギープ

接着力、耐熱性、屋外耐

25150G▽粘着剤

ナス40〜100℃など

店内  
「J  
ア  
日、  
をオ  
同  
市初  
ドサ  
では  
黒  
開口  
るく  
上げ  
県の  
ブの  
であ  
植栽  
の石  
配置  
一テ  
エス